

就学を控えた保護者の方へ

子どもたち一人ひとりの 笑顔のために

小学校で実践している支援や
指導の実際について紹介します。





幼稚園・保育所と小学校では、子どもたちの生活はどう変わるの？

子どもたちは、小学校での生活や小学生になることにドキドキ感とワクワク感でいっぱい。その一方で、小学校入学の時期は、子どもたちを取り巻く環境や生活リズムが変わり、子どもたちの心や体が不安定になりやすい時期でもあります。

日常生活の面で

保護者の方の送迎



児童による集団登下校



生活リズムに大きな変化があります。小学校へ集団登校で通学するようになります。また、その日の時間割によって持ち物が変わったり、宿題をしたりすることが始まります。

学校生活の面で

遊びを中心とした園生活を通しての総合的な学び



教科書を中心とした学び



一日の園生活を通して、子どもたちの興味や関心に応じた活動が行われる生活から、小学校では「こくご」や「さんすう」など1校時(45分)ごとに決まった学習を、椅子に座って行う生活に変わります。

その他、学級内や掃除の時間、給食の時間などでの係活動が増えたり、休み時間など、園生活ではなかった時間が小学校から始まります。



周囲からの対応の面で

園の中では「年長さん」



小学校では「最小学年」



園生活では「年長さん」として、保育士さんや下年齢の子どもたちから頼られ、一目置かれる存在でしたが、小学校に入学すると「知らないことが多い」「教えてもらう」小学校の中では一番若い存在になってしまいます。



『小学校入学に向けて』『小学校入学後』に家庭でできることは？

家庭では

子どもの発する信号に気づく

『子どもたちの SOS の信号は様々』
「なんだか最近甘えてくる…」
「ちょっとしたことで泣き出す…」等々、子どもたちの信号は様々です。日頃から、子どもたちが発する信号に気づき、子どもの今の姿に合った支援を考え実行していくことが大切です。



子どものよき理解者に

『子どもたちの視点に立って』

子どもたちの行動には何かしらの理由があります。大人の視点から子どもの行動を考えるだけでなく、子どもの視点に立って行動の意味を考えることが必要です。



子どもたちの様子が気になることがあれば

子どもたちは「家庭(地域)」と「園や学校」の2つの場で生活しています。

「最近、様子がおかしいな」
「〇〇ができるようになって欲しいな」

子どもたちのことで気になることがあれば、園や学校に伝えるようにしましょう。

家庭

園学校

保育所・幼稚園

チームで子どもたちの成長を支えます

『子どもたちの「できた」「わかった」喜びを目指して』
小学校では、担任の先生を中心に、保護者の方、校内の先生方と協力しながら、チームで子どもたちの「できた!」「わかった!」を導き出します。

また、特別支援学校や関係機関のアドバイスを得ながら子どもたちを支援します。

園や学校では



担任の先生は、子どもたちのことを第一に考えてくれます。気になることは遠慮なさらずに相談してください。

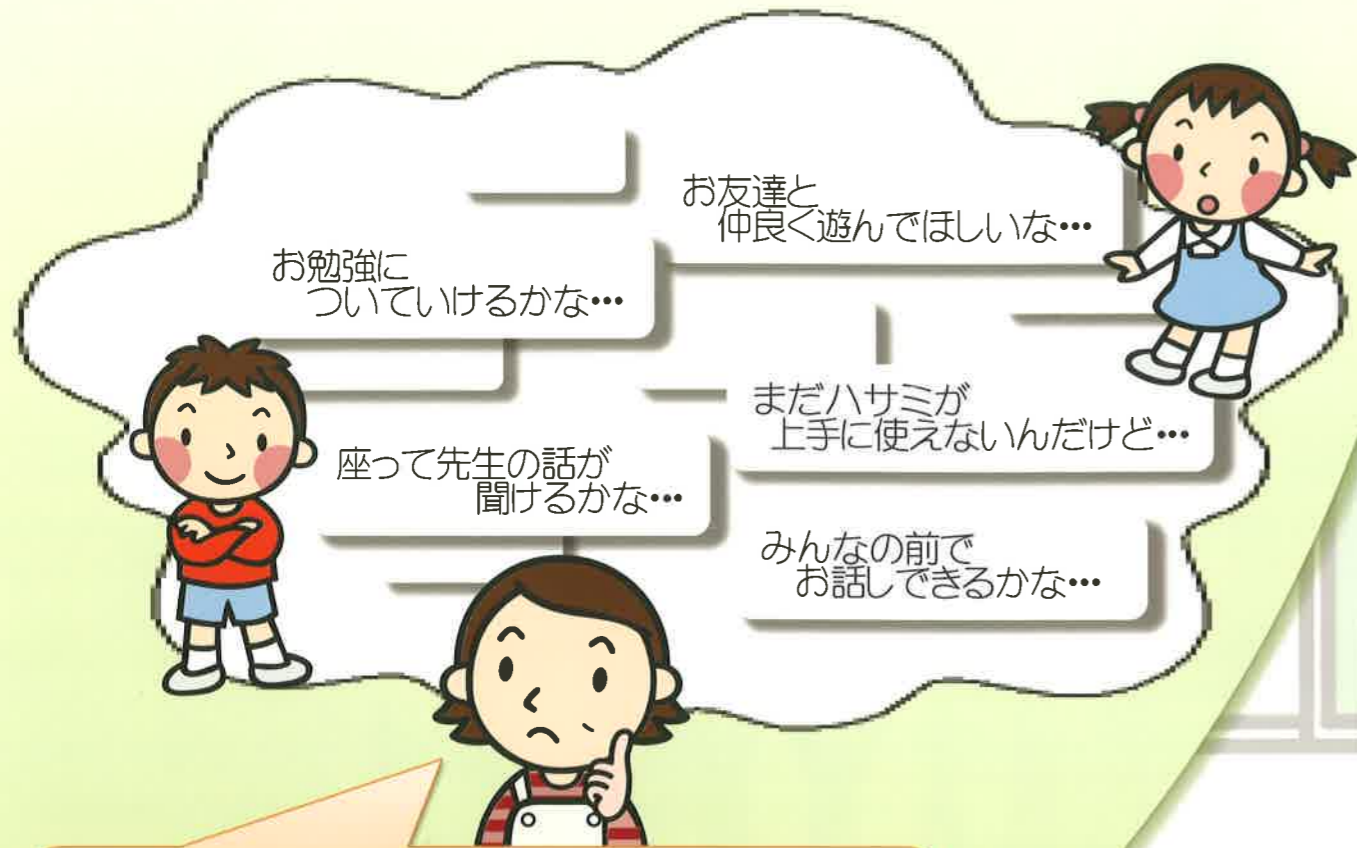
また園や学校には、相談の窓口となる『教育相談担当』や『特別支援教育コーディネーター』の先生がいます。これらの先生もいつでも相談に応じてくれます。

園や学校には、相談の先生がいます

新しい小学校生活をスムーズに迎えるため、これまで園や家庭で取り組まれてきたことや、配慮すべき事柄が小学校へ引き継がれることが大切です。

園と保護者、学校で話し合い、子どもたちが楽しく充実した学校生活を送れるようにしましょう。

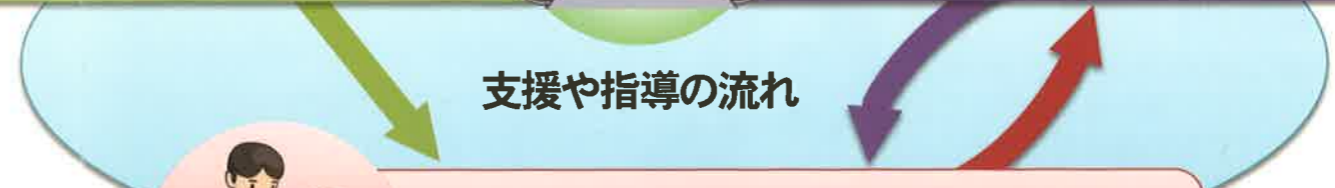
新しい学校生活を迎えるために



小学校では、子どもたちにどのような指導をしているの？

小学校では、子どもたち一人ひとりの状況に応じて支援や指導が行われています

- ① お子さんの将来を見すえた支援や指導を、保護者の方と一緒に考えます。
- ③ 支援や指導を振り返る会を設け、保護者の方と一緒に支援や指導を見直します。



- ② 一人ひとりの配慮や支援の必要性に応じて、専門的な指導や支援を行います。

たとえば、このような支援や指導が行われています



たとえば **計算が苦手な** お子さんには...

おはじき等を用いながら、数のイメージづくりをします。徐々に頭の中でイメージを作らせ、暗算の力をつけていきます。



たとえば **不注意や忘れ物が多い** お子さんには...

好きな活動を通して、注意力を高める指導をおこなったり、集中しやすい環境づくりをしたりします。また、ロッカーなどに忘れやすい物をメモして貼っておくなど、忘れ物をしない工夫を考えます。



たとえば **じっとしていることが苦手** かつ **かたなりやすい** お子さんには...

得意なことから、友達から認められる機会を増やし、ゆとりを持って過ごせるようにします。ストレスがたまった時に、適切に発散できる方法を考えていきます。



たとえば **集団行動が苦手な** お子さんには...

最初は、担任や特定の友達とのかかわりから始めます。それから徐々に集団にかかわる場面を設定していきます。



たとえば **文字を書くことが苦手な** お子さんには...

描ける形や読める文字から書く練習をします。絵などを使って、単語の意味を考えながら書いたりします。



たとえば **こだわりが強く、興味関心が広がりにくい** お子さんには...

お子さんの得意なことを一緒にやりながら、徐々に活動を広げていきます。また、苦手なことにもチャレンジしていく指導も行います。

<大切なことは>
子どもたちが適切な支援を継続的に受け、将来一人ひとりの能力を十分に活かせる自立的な生活を目指すことです。



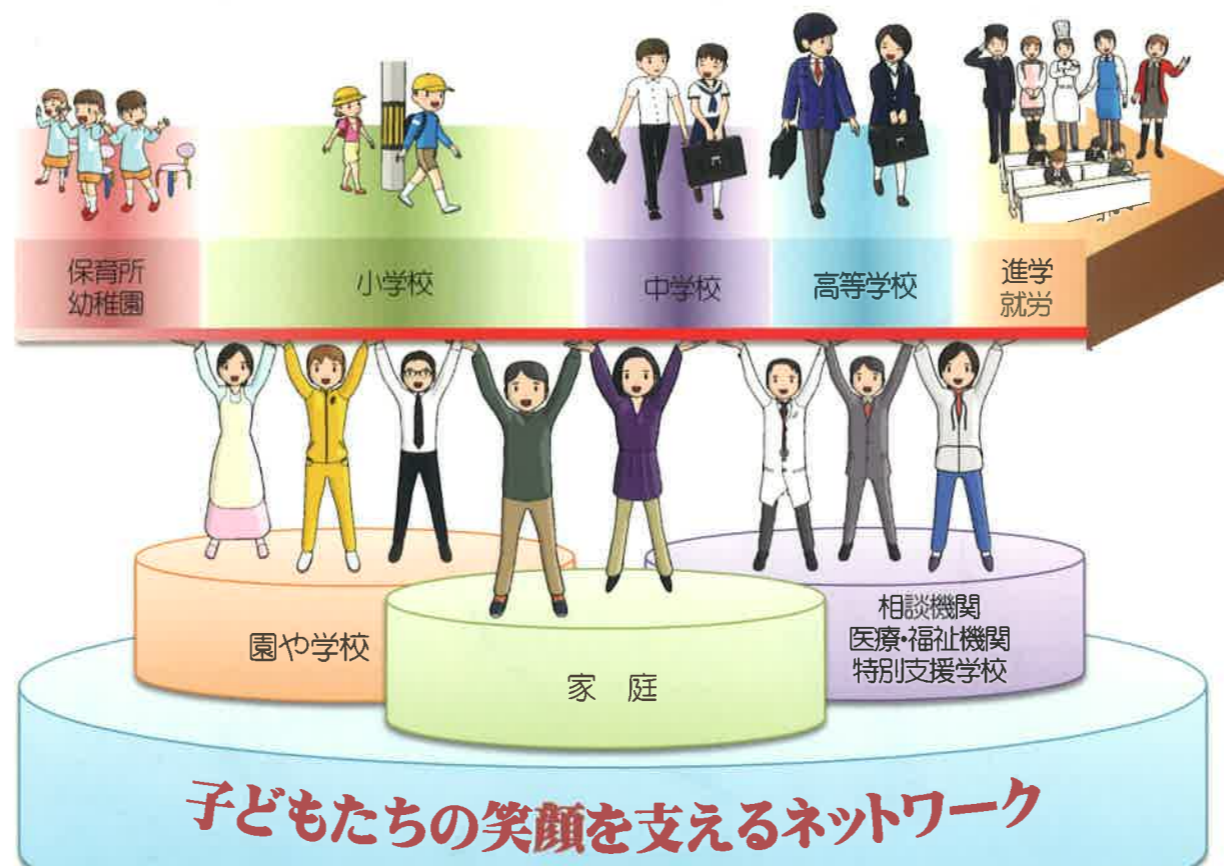


小学校入学は、子どもたちの人生の第一歩

～子どもたちの成長に合わせて、支援もつながりを～



保護者の方や園や学校の先生方は子どもの成長を願い、成長を支える支援者です。でも、支援の具体的方法が見つからなかったり、上手いかなかったり、悩んだ時には、学校や保護者の周りには「応援団」の力を借りましょう。



応援団は、子どもたちの心や体の状態を見る医療機関、学校や家庭での支援についてアドバイスする相談機関や特別支援学校の教育相談などです。これらの応援団とのネットワークを組むことにより、新しい内容・方法が見つかったり、支援の見通しが持てたり、支援がよりパワーアップします。

気になることがあったら、まずはお子さんが通っている園や学校の担任の先生、特別支援教育コーディネーターや教育相談担当の先生に相談してみましょう。

その他、県内では下記の機関が相談に応じてくれます。



福井県特別支援教育センター		☎ 0776(53)6574
嶺南教育事務所 特別支援教育課		☎ 0770(56)1095
福井県教育研究所 教育相談課		☎ 0776(36)4852
福井県発達障害児者支援センター スクラム福井	福井	☎ 0776(22)0370
	奥越(大野)	☎ 0779(66)1133
	嶺南(敦賀)	☎ 0770(21)2346